

(専門分野)

授業科目	高齢者看護学演習	講師	教員	実務経験	単位数
				○	1
学習目標	1.高齢者を対象とした看護過程の展開ができる。 2.高齢者およびその家族に必要な看護技術を習得できる。			時間数	第1学期
				30	
				学年	
				2	
				時期	
回数	主題	学習内容		授業方法	講師
1～5	看護過程展開 (大腿骨頸部骨折後の回復期の看護)	1. 看護過程展開の実際 1) 事例紹介 2) 情報の解釈・分析 3) アセスメント 4) 健康問題の検討 5) 対象に必要な看護計画の立案		講義 演習	教員
6～8		2. 指導技術 1) 大腿骨頸部骨折術後の対象への指導 2) 家族に向けた指導			
9～12	高齢者の看護に必要な援助技術	1. 脳梗塞患者の援助技術 1) 事例紹介 2) 情報の解釈・分析 3) アセスメント 4) 健康問題の検討 5) 対象に必要な看護計画の立案		講義 演習	教員
13～14		2. 高齢者の看護に必要な援助技術 1) 片麻痺患者の移動 2) 良肢位			
15	評価	単位認定試験(45分) まとめ			
評価方法	筆記試験 50点 課題 50点	テキスト	系統看護学講座 老年看護学 看護診断ハンドブック		